



思春期・青年期における心身の特徴に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 思春期には、男女ともに緩やかな身体の変化がみられる。
- 2 思春期における心理的特徴としては、自意識過剰がある。
- 3 思春期には、アイデンティティは形成されている。
- 4 第二次性徴に性差はみられない。
- 5 青年期の死亡原因としては心疾患が最も多い。

1 ×

思春期の身体の変化は、男女ともに急激である。一般に思春期とは、小学校高学年から高校生にかけての時期を指す。思春期は、男女ともに、身長や体重の増加、生殖器の発達が著しい時期である。

2 ○

選択肢の通りである。自意識過剰とは、「周りからどのように見られているか」など、自分自身に関することを必要以上に意識しすぎてしまう状態のことをいう。自己の存在についての認識が不安定になる思春期における心理的特徴の1つである。

3 ×

アイデンティティ（自我同一性）は、思春期に形成・確立されるものであり、思春期に入る前に形成されているものではない。アイデンティティ（自我同一性）とは、自分自身を、他者とは異なる独自の自分自身を「これが自分である」と認識することをいう。

4 ×

第二性徴に性差はみられる。第二性徴では、生殖器の発達が始まる。一般に男性よりも女性の方が第二性徴が早く現れる。なお、第一性徴とは、生物学的な形態的性差（生殖器の違い）のことであり、出生前に現れる。

5 ×

青年期（10代）の死亡原因としては「自殺」が最も多い。なお、0歳～4歳は「先天奇形等」、5歳～9歳および40代～80代までは「悪性新生物」、90代以降は「老衰」が死因で最も多い（国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」）。